

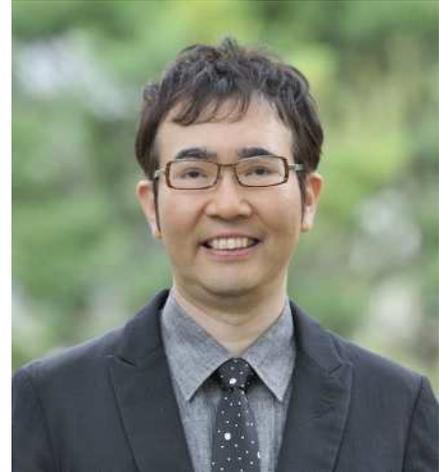


公益社団法人
東京広告協会
TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION

第94回定時総会 記念講演

演 題 「生命を捉えなおす ー動的平衡の視点からー」

講 師 福岡 伸一 氏
(生物学者／青山学院大学教授)



〈講師プロフィール〉

生物学者。1959年東京生まれ。京都大学卒。米国ハーバード大学医学部博士研究員、京都大学助教授などを経て青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員研究者。2025年大阪・関西万博テーマ事業「いのちを知る」プロデューサー。サントリー学芸賞を受賞し、80万部を超えるベストセラーとなった『生物と無生物のあいだ』（講談社現代新書）、『動的平衡』（木楽舎）など、“生命とは何か”を動的平衡論から問い直した著作を数多く発表。ほかに『世界は分けてもわからない』（講談社現代新書）、『できそこないの男たち』（光文社新書）、『生命の逆襲』（朝日新聞出版）、『せいめいのはなし』（新潮社）、『ナチュラルリストー—生命を愛でる人』（新潮社）、『変わらないために変わり続ける』（文藝春秋）、『福岡ハカセの本棚』（メディアファクトリー）、『福岡伸一、西田哲学を読む—生命をめぐる思索の旅 動的平衡と絶対矛盾的自己同一』（明石書店）など。対談集に『動的平衡ダイアログ』（木楽舎）『センス・オブ・ワンダーを探して』（だいわ文庫）、翻訳に『ドリトル先生航海記』（新潮社）『生命に部分はない』（講談社現代新書）『ダーヴィンの「種の起源」 はじめての進化論』（岩波書店）などがある。近刊に『迷走生活の方法』（文藝春秋）、『生命海流GALAPAGOS』（朝日出版）。

また、大のフェルメール好きとしても知られ、世界中に散らばるフェルメールの全作品を巡った旅の紀行『フェルメール 光の王国』（木楽舎）、さらに最新刊として『フェルメール 隠された次元』（木楽舎）を上梓。最新のデジタル印刷技術によってリ・クリエイト（再創造）したフェルメール全作品を展示する「フェルメール・センター銀座」の監修および、館長もつとめた。

2015年11月からは、読書のあり方を問い直す「福岡伸一の知恵の学校」をスタートさせ、校長をつとめている。